

志教育の 視点	<input checked="" type="checkbox"/> かかわる ・ <input checked="" type="checkbox"/> もとめる ・ <input type="checkbox"/> はたす
活動名	「進路決定者・卒業生のお話を聞く会」
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	1年次・2年次
ねらい	進路決定者（就職5名・進学1名）と卒業生（就職4名・進学2名）から進路決定をするまでの経緯，就職活動や進学準備の状況，在学中にやるべきこと等のアドバイスを聞くことで，卒業後どのように生きていきたいか，進路選択についてより具体的に考えられるようにする。そして，今何をすべきか自覚できるようにすることをねらいとする。

【実践内容】

- 1 実施日 進路決定者の話を聞く会 令和4年12月22日（木）
卒業生のお話を聞く会 令和5年 1月12日（木）
- 2 活動の流れ
 - 〈1〉開会行事
 - 〈2〉講師紹介… 講師の進路決定先や勤務先・進学先のスライドを交えながら，教員が紹介を行う。
 - 〈3〉講話… 企業・学校を選んだ理由，進路達成へ向けて行った努力，新生活の感想，在学中にやっておくべきことなどを中心に話をしてもらう。
 - 〈4〉質疑応答… 講話が終わる毎に時間をとる。
 - 〈5〉お礼の言葉
 - 〈6〉感想の記入
 - 〈7〉閉会行事
- 3 指導上の工夫
進路ガイダンスや進路講話を行い，進路の方向性や疑問・不安を整理し，この会をきっかけに，高校生活に慣れるという段階から卒業後の進路を意識する段階への移行を図る。

4 生徒の感想（一部抜粋）

進路決定者の話を聞く会

- ・進路が違っていても、「コミュニケーション能力」や「自己理解を深めること」は大事なことなんだなと思いました。どの進路に進むにしても、今から意識して生活していきたいです。
- ・自分に合った職業を選ぶために、高校生のうちに行事の実行委員やアルバイトなどの様々な経験をするのが大切なんだと思いました。
- ・進路を選ぶ上で、自分のやりたいことや給料、通いやすさ、勤務形態等どれも大切であることが分かった。その中で、自分はなにを妥協するか・できるのかを考えていくことも必要なんだと思った。

卒業生の話を聞く会

- ・就職か進学かを迷っていましたが、卒業生の話をきいて、就職してから進学する道もあることを知り、進路の幅が広がりました。
- ・当たり前だけど、1人ひとり目指すところが違って、それぞれの目標に対してどのように行動して何をすればいいのかを知ることができ、とてもためになりました。
- ・報告・連絡・相談の大切さはアルバイトを経験して理解しました。社会人になってもその大切さは変わらないと話にあったので、これからの学校生活でも忘れないようにしたいです。
- ・「自分のやりたいことを大事にする」、「やりたいことを我慢するのは自分らしくない」という言葉に強く勇気づけられました。

5 成果と課題

毎年のことながら、進路決定者・卒業生の話の内容がとても分かりやすい。進路決定者の話を聞く会においては、事前に年次内での発表会を経て、就職・進学活動により熱を入れた生徒を今回の講師としているため、1・2年生の今後の学校生活への意欲が高まったようだ。

また、卒業生の話を聞く会においては、生徒の感想にもあったように、一度企業に就職したが、働いているうちに勉強したいことが見つかったため、4月から専門学校に通う予定の卒業生がいた。多くの生徒が「その考え方があったのか」という感想をもっており、いい意味で進路決定について気持ちを楽にできたことが成果である。

課題としては、進路活動に消極的な生徒への働きかけである。今回のような進路についての話を聞く際に、講義形式だと「圧力をかけられている」と感じる生徒がいる。そういう生徒が参加しやすくするために、数人のグループになって、先輩や卒業生から話を聞く形にすることも方法の1つとして挙げられる。そうすることで、社会人との話し方の習得や先輩との繋がりもでき、進路活動を進めていく上での支えもできるのではないかと考える。